

KEYWARE TIMES

株主通信 Vol.11
第47期 第2四半期(累計)事業報告
2011年4月1日~2011年9月30日

▶こんなところに、キーウェア

将来、生活、心への安心のために——
「仕事」と「子育て」の両立を、ICTでサポート。

▶特集

中島社長に聞く
キーウェアの成長へ向けた取り組み



KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社
〒160-8422 東京都新宿区新宿三丁目1-13
(京王新宿追分ビル8F) 経営企画室 広報IR部
<http://www.keyware.co.jp>



※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社
東証第二部 3799

IT can create it.



こんなところに、キーウェア

将来、生活、心への安心のために—— 「仕事」と「子育て」の両立を、ICTでサポート。

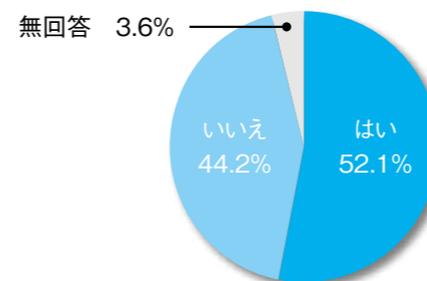
子どもを抱えて自立していく。

ひとり親家庭の道のりは、決して平坦なものではありません。社会的・経済的・精神的に不安定な状態に置かれがちなため、育児、医療の分野で助成金などの支援を行う自治体も増えてきています。そのような中、安定した生活を築く第一歩である「就業機会」の確保は、経験の有無や子育てによる就業の中断、雇用側への啓発不足など、未だに厳しい状況にあるようです。

2011年5月、キーウェアは東京都世田谷区より委託を受け、「世田谷区ひとり親家庭等在宅就業支援事業」をスタートいたしました。

世田谷区は、これまで暮らしの支援、手当、各種優遇制度などひとり親家庭の不安軽減や自立支援に向けた取り組みを行ってきています。今回その取り組みの一環として、ひとり親家庭の将来の充実、生活向上、経済的自立を支援目的として、仕事と子育ての両立を

Q ひとり親になるとき、仕事をしていましたか？



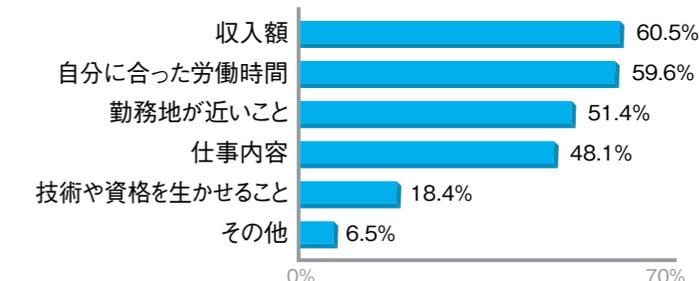
はかりやすい働き方である在宅での就業を促進するための支援を実施されました。

キーウェアでは、本事業において受講生の募集をはじめ、シンクライアントソリューション (GO-Global) やクラウドサービスを活用した在宅による教育訓練プログラムの実施、ひとり親家庭が従事する在宅就業の発注者および仕事の開拓など、事業の運営を行うとともに、就業以外に関わる相談支援まで行います。

本年6月の募集時には、自分に合った道を見つけたい、安定した生活に向けて新しい一歩を踏み出したいと願う、ひとり親家庭の多数の皆さまからご応募をいただきました。これからも地域社会のICT利活用促進を支援するサービスの提供に取り組み、便利で豊かな社会の実現に向けて貢献してまいります。

ひとり親家庭とは①配偶者が死亡、②配偶者と離婚、③配偶者が生死不明、④配偶者が1年以上児童を遺棄、⑤未婚の母、のいずれかに該当する方が18 (20) 歳未満の子を扶養している家庭、つまり子どもと父または母のいずれか一方によって構成されている世帯をいいます。
(母子及び寡婦福祉法より引用)

Q 仕事を選ぶときに何を優先して決めていますか？



(「世田谷区ひとり親家庭等アンケート」調査結果報告書より)

●たとえばこんな知識や技術を習得できるように!

企業経理データ
代行入力業務

コールセンター
対応業務

WEB制作

ITインフラの
設定業務

テープ起こし
取材業務



説明会の様子



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2011年3月11日に発生しました東日本大震災で被害を受けられた地域の皆さまには、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災した地域が一日も早く復旧することを心よりお祈り申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内の長引く景気低迷や円高、欧州の債務問題など国内外経済の不透明感を背景にユーザー企業のIT投資抑制が継続しております。このような中、当社グループでは3ヵ年中期経営計画「Q Curve (キューカーブ) 2015」の事業ビジョンである収益基盤の安定化に向けた「質的転換[※]」

を推進いたしました。特に、既存顧客との関係強化においては、当社グループが保有するさまざまな基幹システムの構築実績や豊富な業種・業務ノウハウと最新の技術を組み合わせたソリューションを積極的に提案することで、案件の深耕と横展開をはかることができました。これらの結果、当社グループの当第2四半期累計期間の業績につきましては当初計画を上回る収益を確保することができました。

今後は、既存顧客との関係強化に加え、すでに取り組んでいる当社のパッケージソフトウェア「交通広告システム」のクラウド化やスマートデバイスを活用した既存システムの新たな価値創出に向けたコンサルティング等、

サービス提供型およびクラウド関連事業を拡大してまいります。

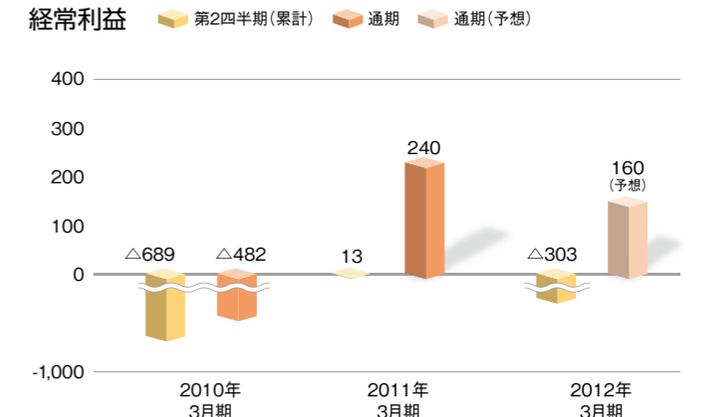
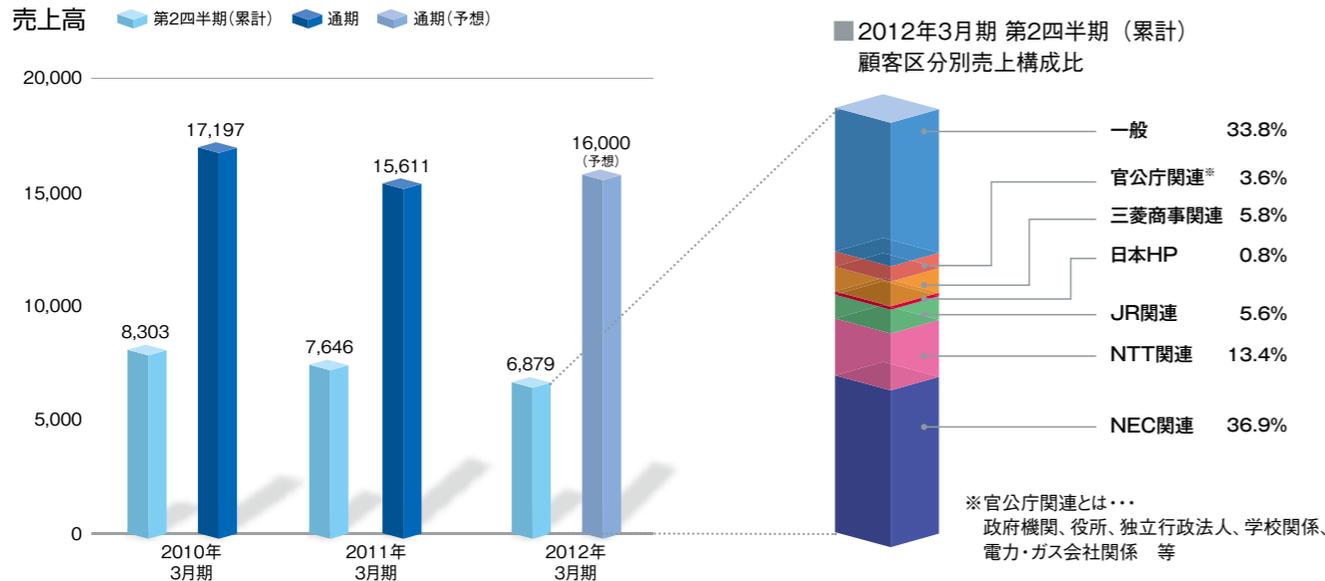
当期は引き続き厳しい事業環境が想定されますが、これまでの施策を継続するとともに、売上・利益の確保に向け、スピード感を持って新たな事業機会の創造と獲得を行ってまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **中島 哲二**

※質的転換：事業内容の質的転換、顧客との関係の質的転換、人材の質的転換

●連結業績ハイライト (単位：百万円、単位未満切り捨て)



配当について

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置づけ、会社の安定的な経営基盤の確保と安定的な配当の維持を基本方針としております。

2012年3月期配当金(予想)
1株当たり5円
2円(中間) 3円(期末)

キーウェアの成長へ向けた取り組み

キーウェアでは、ICT（情報通信技術）の進歩に伴い、新たに収益構造を変革し時代のニーズに沿った競争力のある企業への転換を目指しております。これからの成長に向けた取り組みについて、中島社長にお話を聞きました。



Q1 今後の事業の方向性について教えてください。

A 昨今、クラウド・コンピューティングへの転換、スマートフォンの広がりなどを背景に、情報システムは「所有する」から「利用する」時代へとシフトしております。情報システムを「所有」せず「利用」することは、顧客企業にとっては、システム開発および運用保守の費用削減や導入期間の短縮などメリットが大きいことから、今後も利用の拡大が見込まれております。当社グループにおいては、これまで、

さまざまな社会インフラのシステム構築に携わった業種・業務ノウハウや構築実績をもとに、既存ソリューションのクラウドサービス化など、サービス提供型ビジネスへの転換をはかっております。例えば、当期において、スマートデバイスを活用したスマートモバイルソリューションサービスを開始したほか、交通広告システムのクラウド化に向けた取り組みを開始しました。

また、総合サービス事業の拡大に向けて、新規分野での取り組みも積極的に行ってまいります。世田谷区ひとり親家庭等在宅就業支援事業（P1-2でご紹介）で培ったノウハウを生かした他の自治体への展開や、政府の新たな情報通信技術戦略である、経済産業省 平成22年度「医療情報化促進事業」における「どこでもMY病院」構想の実現に向けた実証事業への参画も一例です。

当社グループは時代のニーズを的確に捉え、社会の皆さまが求めるサービスやお客様の企業価値向上に直接つながるための価値を提供し、それに相応しい対価をいただく高収益事業への変革を目指してまいります。



Q2 経営とITの統合について、どのようにお考えですか？



A 企業経営にITが深く関与するケースが増えています。これまでのIT投資に対する経営視点からの効果への反省や、逆に、「短期間に低コストで新しいビジネスを立ち上げたい」といった攻めの戦略にITが必須であるなど、企業全体にITが大きな影響を及ぼすようになっております。当社でも経営とITの関係に深く関与し、戦略もお客様と一

緒になって考え、経営責任の一端を担える真のITパートナーとなるべく積極的にプライム案件の取り込みを行ってまいります。

また、当社グループの年間売上高の約6割を占める特定クライアントに対しても、ITの企画、提案段階から参画して存在感のあるパートナーになることを目指しております。



Q3 成長への足固めとして、取り組まれていることはございますか？

A 事業内容の転換や、顧客との関係強化を果たすために、優秀な「人材」の存在が必要であると認識しております。経営とITの統合コンサルティングや業務分析などの上流工程からの業務を行える人材の育成強化を行うとともに、サービス提供型へのシフトを実現するための新しい技術スキルを備えた人材を全社グループ挙げて育成しております。

特にクラウドなどの最新技術については、全社から選抜した社員をクラウドマイスターとして育成し、クラウドマイスターが習得した知識・技術を全社に対してタイムリーに情報発信を行い、全社で共有できる環境を構築しております。

今後とも、常に品質、技術にこだわり、企業価値の向上を追求することで魅力ある企業を目指してまいりますので、これからのキーウェアにご期待いただき、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



暮らしの中のキーウェア

豊かで便利な社会の発展を支える
キーウェアの情報システム・サービスをご紹介します。

安心 安全 便利



私たちの身近なところで、
キーウェアは
活躍しているんだね。

宇宙で
衛星追跡管制・衛星関連データ処理
宇宙ステーション運用管制など

駅の改札で
駅改札におけるICカード利用など

空港で
航空路管制システム、
スポット管理システムなど

街中で
野球・ゴルフ・大相撲などの
スポーツ情報のニュース配信システムなど

銀行で
勘定系業務などの金融ソリューション

ホームで
駅のホーム用車両接近状況表示、
行先案内表示、緊急案内表示など

オフィスで
経営とITの統合コンサルティング、
情報セキュリティ

固定電話で、携帯電話で
一般電話（NTT）、携帯電話の通信情報、
パケット通信情報、顧客管理、料金管理など

工場で
生産管理や購買管理などの
ERPソリューション

自宅で
ECサイト、
シンクライアント端末を活用した
在宅就業支援やテレワークなど

電話帳で
大規模顧客データベース、顧客管理、
広告販売、コールセンター業務など

高速道路で
各種交通情報の蓄積や表示板への渋滞情報の
表示などの交通情報ソリューション

病院で
オーダーリングシステム、電子カルテ、
臨床検査システム、院内感染監視システム

学校で
デジタル教材とタブレットを利用した授業などの
ICT活用環境の構築

新たなサービス・新技術の取り組み

スマートモバイルソリューション

コンシューマー市場を中心に、スマートフォンやスマートタブレットが急速に普及しています。その利便性ゆえに、これらを情報端末として自らの業務に活用しているビジネスパーソンが増加する中、企業としても業務の効率化・競争力向上の手段として有効活用できないか模索されているお客様が増えています。キーウェアでは、そのようなお客様の期待に応えるために、スマートデバイ

スと既存システムの連携をはじめ、具体的な活用方法やITシステム構成のご提案、および最適なソリューションを活用した仕組みの開発とスムーズな導入・運用の支援を行っております。



埼玉県毛呂山町における教育情報化の環境構築

総務省の「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」が発足し、eラーニングに積極的な毛呂山町を支援するソフトウェアや、デジタル教材を活用した授業ができるシステム、またiPad（アイパッド）でWindowsの教材コンテンツも利用できる仕組みを構築いたしました。



理想の体作りを支援する健康サービスサイト「LEANBODY.JP（リーンボディドットジェイピー）」の開設

運動と栄養についての情報を発信することで理想の体作りを考えるサイト「LEANBODY.JP（リーンボディドットジェイピー）」を、2011年4月18日にオープンしました。文字のみの情報発信だけではなく、画像や映像、インタラクティブな内容も盛り込み、見る側にも健康について考えてもらえるサイトを目指しております。



A 流動資産

商品および仕掛品の増加はありましたが、現金預金および売掛金の減少により前期末比255百万円減少し4,483百万円となりました。

B 固定資産

販売用ソフトウェアの増加はありましたが、のれんの償却、投資有価証券の売却および評価損等により前期末比102百万円減少し4,573百万円となりました。

C 流動負債

買掛金の減少はありましたが、借入金および前受金等の増加により前期末比151百万円増加し2,328百万円となりました。

D 固定負債

長期借入金の約定弁済により前期末比148百万円減少し585百万円となりました。

E 純資産

四半期純損失の計上により、前期末比361百万円減少し6,144百万円(自己資本比率67.8%)となりました。

■四半期連結貸借対照表

	前期 2011年3月31日現在	当第2四半期 2011年9月30日現在
(資産の部)		
A 流動資産	4,739	4,483
B 固定資産	4,675	4,573
有形固定資産	225	207
無形固定資産	1,324	1,325
投資その他の資産	3,125	3,040
資産合計	9,415	9,057

(負債の部)

C 流動負債	2,176	2,328
D 固定負債	733	585
負債合計	2,909	2,913

(純資産の部)

株主資本	6,506	6,150
その他の包括利益累計額	△1	△6
E 純資産合計	6,505	6,144
負債純資産合計	9,415	9,057

■四半期連結損益計算書

	前第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	当第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
F 売上高	7,646	6,879
売上原価	6,237	5,754
売上総利益	1,408	1,124
販売費及び一般管理費	1,394	1,389
G 営業利益又は営業損失(△)	13	△265
経常利益又は経常損失(△)	13	△303
H 四半期純損失(△)	△265	△355

■四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	当第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
I 営業活動による キャッシュ・フロー	△451	△331
投資活動による キャッシュ・フロー	△95	△72
財務活動による キャッシュ・フロー	149	△50
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△397	△454
現金及び現金同等物の 期首残高	1,103	1,240
現金及び現金同等物の 四半期末残高	706	786

F 売上高

震災、豪雨災害などの影響による内需回復力の弱まり、米国景気減速、欧州債務危機などの世界的な景気後退により、自治体や企業のIT投資抑制が依然続いていることから前年同期比767百万円減少し6,879百万円となりました。

G 営業利益

販売費及び一般管理費の抑制をはかったものの、売上高の減少、顧客企業の原価低減による受注額の減少および稼働率の低下により、265百万円の損失計上となりました。

H 四半期純損失

支払利息等の金融費用ならびに投資有価証券の売却損および評価損を計上したことから355百万円の損失計上となりました。

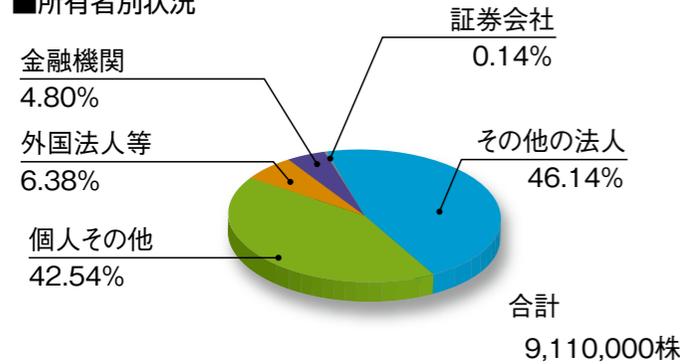
I 連結キャッシュ・フロー

売上債権の減少、短期借入金の純増などはありませんでしたが、たな卸資産の増加、販売用ソフトウェアの増加による支出および長期借入金の約定弁済等により454百万円のキャッシュ・アウトフローとなり現金及び現金同等物は786百万円となりました。

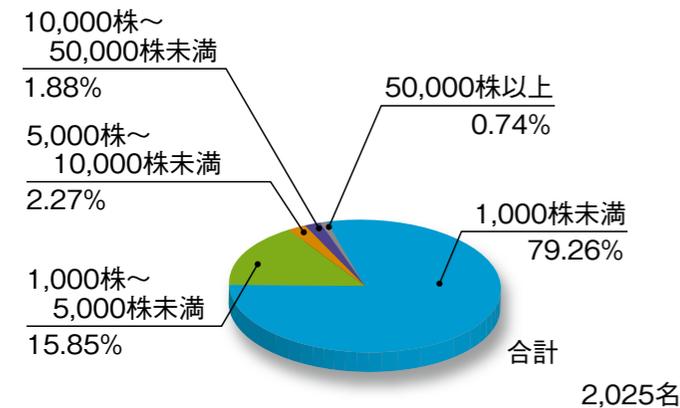
発行可能株式総数 36,440,000株
 発行済株式総数 9,110,000株
 株主数 2,025名

大株主	所有株式数	持株比率(%)
日本電気株式会社	3,190,000	35.02
キーウェアソリューションズ従業員持株会	856,900	9.41
岡田 昌之	607,500	6.67

■所有者別状況



■所有株数別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 および特別口座の口座管理機関 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 【郵便物送付先】 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 【電話照会先】 (フリーダイヤル)0120-176-417
 【インターネット ホームページ URL】 <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
 公告掲載新聞 日本経済新聞
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

株式に関するお手続き

- ・特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、株主名簿管理人である住友信託銀行(上記の電話照会先)へお願いいたします。
- ・配当金の口座振込のご指定につきましては、お取引の口座管理機関(証券会社)にてお手続きいただくことになりました。株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましても、お取引の口座管理機関(証券会社)へお問い合わせください。
- ・期間経過後の配当金のお支払いにつきましては、株主名簿管理人である住友信託銀行にお申出ください。
- ・租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降に当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額などを記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りしております(同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります)。お受取りになられた「支払通知書」は、配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

商号 キーウェアソリューションズ株式会社
 住所 〒160-8422 東京都新宿区新宿三丁目1-13 (京王新宿追分ビル8F)
 代表者 代表取締役会長 八反田 博
 代表取締役社長 中島 哲二
 創立 1965年5月
 資本金 17億37百万円
 売上 156億11百万円(2011年3月期・連結)
 従業員数 1,183名
 主要法人株主 日本電気株式会社
 株式会社ジェイアール東日本情報システム
 日本ヒューレット・パッカード株式会社
 株式会社三井住友銀行
 住友生命保険相互会社
 取得資格 品質マネジメントシステム登録事業者
 プライバシーマーク使用許諾事業者
 情報セキュリティマネジメントシステム登録事業者
 環境マネジメントシステム登録事業者
 CMMIアプライザル(運輸事業部レベル3)

役員

代表取締役会長 八反田 博 はったんだ ひろし
 代表取締役社長 中島 哲二 なかしま てつじ
 取締役 矢光 重敏 やこう しげとし
 村上 優 むらかみ まさる
 三田 昌弘 みた まさひろ
 島田 孝雄 しまだ たかお
 中江 靖之 なかえ やすゆき
 監査役 木本 誠 きもと まこと
 山田 和男 やまだ かずお
 岡西 祥太郎 おかにし しょうたろう
 瀧田 博 たきた ひろし

※取締役 中江 靖之は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

※監査役 岡西 祥太郎および瀧田 博は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

※監査役 瀧田 博は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員です。



本社(賃貸)

八幡山事業所(賃貸)



社会・環境活動 (CSR) への取り組み

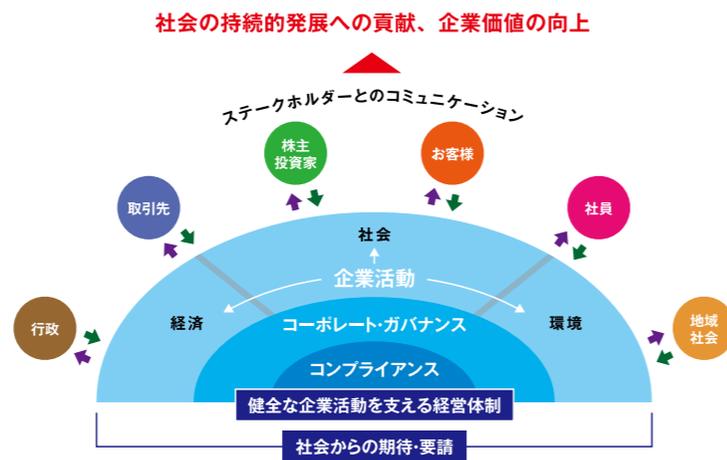
キーウェアグループでは、社会・環境活動への取り組みを企業の重要な社会的責任と認識しております。地域社会の皆さまと友好的なコミュニケーションを取りながら、豊かな社会と環境の実現に努めてまいります。

東日本大震災 復興支援活動

東日本大震災により被災された皆さまの支援や被災地の復興にお役立ていただくため、キーウェアソリューションズおよびグループ会社に募金箱を設置し、役員・社員より義援金を募りました。集まった義援金は、社員一同として日本赤十字社を通じて寄付いたしました。また、2011年7月に宮城県仙台市で開催された「東北六魂祭」に賛同し、ベネフィット・ワンふれあいコーナーに出展いたしました。今後も企業活動を通じ、復興のお役に立てるよう取り組んでまいります。



ベネフィット・ワン
ふれあいコーナー



「CSR報告書2011」を発行

キーウェアグループのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆さまに、適切にわかりやすくご報告することを目的として「CSR報告書」を発行しております。

キーウェアグループの社会・環境活動 (CSR) につきましては、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.keyware.co.jp/csr/index.html>



イベントへの出展

2011年7月7日～9日

第2回教育ITソリューションEXPO

会場:東京ビッグサイト(東京国際展示場)

ICTの取り組みとして埼玉県毛呂山町の小学校に導入いたしました約470台のiPadを授業で活用している事例をご紹介いたしました。



また、不登校や引きこもりなどが社会問題となっていることから、肉体的にも精神的にも健全な学生生活を送れるよう教職員が支援できる「学生の心のケア」を目的としたクラウドサービスもご紹介し、好評をいただきました。



インターネットIR情報

「決算説明(動画配信)」

当社ホームページのIRサイトにて2012年3月期 第2四半期の決算説明の動画を配信しております。



<http://www.keyware.co.jp/ir/index.html>

知って得する!

ICT時代の活用術⑦

『スマートフォンの「スマート」とは』

電車の中や街中で、携帯画面を指でなぞるスマートフォンユーザーをよく見かけるようになりました。携帯電話各事業者が製品ラインナップを拡充したことで、スマートフォンは国内で急速に普及し始めています。



ところで、いまさらながら、スマートフォンとはどのようなものを指すのでしょうか? 「スマート」は英単語の「smart」=「頭の良い」ことを意味します。「スマートフォン」は「多機能携帯電話」と訳され、通話以外の機能(たとえば、本格的なネットワーク機能、スケジュール・個人情報情報の管理など)を併せ持つ「頭の良い電話」ということになります。加えて、ゲームや電子書籍、音楽配信などのコンテンツをダウンロードして、自分好みに機能をカスタマイズできるのも大きな特長です。

いろいろなことができるスマートフォンですが、使いこなすのが難しいのでは?と感じている方も多いでしょう。スマートフォンは「道具」の一つであり、それを使いこなす人のニーズやスキル次第です。自分に必要な道具かどうかを見極めて、スマートフォンをスマートに使いこなせるようになりたいものです。